



「男の子と言われるから…」 「肌色の紙に顔を…」 園長 笛木 哲  
以前勤めていた学校で、山形県の公立小学校に勤める「うた先生」という笑顔の素敵な先生をお招きして人権教育研修会を開催しました。他の先生と少し違っているのは、彼の生まれつきの性が女性であったということです。彼は悩んだ末に、校長先生の同意を得て、担任する教え子と保護者に、小さい頃からの性への違和感、様々な困難を乗り越え性転換手術を決断し、心身共に女性になったことを打ち明けます。子どもたちから愛され、教師として輝いている姿は、男性だから女性だからと言う性差を軽々と乗り越えて、人間としての魅力にあふれていました。

新聞に、数年前までイタリアの小学校の教科書に載っていたという内容——「台所に立つお母さん、仕事に出ているお父さん。だらしのないけれどとても勇敢な男の子、恥ずかしがり屋できちんとした女の子」——が紹介されていました。日本人が漠然とイメージする男と女の役割分担、性格と似ていることに驚きました。

上に書いた二つのことを思い出したのは、「私は娘の髪を切りたいのだけれど、娘は切りたがらないのです」というお母さんの言葉をお聞きしたからです。娘さんに「髪をのばしたいの？」と聞くと、「だって（短いと）男の子みたいって言われるから嫌なの」と答えました。どこかの誰かがもつ「髪が長いのが女子で、短いと男子」という意識（偏見）が、言葉となってこの少女の耳に届いたのでしょう。

価値観が多様化する中で、答えを一つにまとめることが難しくなっています。固定観念でことばを発することで、相手を傷つけてしまうこともあるでしょう。私たちが大切にしなければならないのは、相手を尊重し、相手を思いやることです。人として、お互いの違いを受け入れ、高めあえる関係になれば幸いです。

制作活動をしていた担任が、「肌色の紙に顔を描くのよ」と指示しました。その言葉を聞いて、20年ほど前のことを思い出しました。外国人の子女が増加していた時代です。「肌色」という言葉を巡り、差別やいじめが起きないようにという配慮から、色鉛筆やクレヨンの「肌色」という名前が学校教育だけでなく、社会から一斉に消えました。一つの色を取り上げて「肌色」と固定するのを国際化の時代が許さなかったのです。

目に見える相手だけでなく、その向こうにいる人まで考えることはとても難しいことだけれど、そこにも思いを巡らすことができる心を持ち、子どもたちにもそんな心を育てることの大切さを思いました。



子どもたちの大好きなビアンカ先生(英語)はジャマイカ生まれ

## あいさつ&片付け ■ □ ■ □ ■ □ ■ □ ■ □ ■ □ ■ □ ■ □ ■ □ ■ □ ■

- 朝、教室にカラー帽子を届ける際に出会ったどの先生にも「おはようございます」と声を掛ける年長さん。「恥ずかしいけれど、勇気を出して言ったよ」
- 教室をのぞく職員に、教室の中から「おはようございます」と大きな声が返る。
- 「消防車が通り過ぎる時、消防署の方にもあいさつをしていましたよ」との報告。
- 年中さんのお母さん。「息子は外(地域)でも、あいさつができるようになりました」
- 子どもに会う度に「おはようございます」と声かけをしてくださるお母さん。子どもから、よいあいさつが返らないことが多くてごめんなさい。
- 片付けのゆっくりな友だちをみつけた○君。「待ってあげるよ」と一言。

## 保育日誌から 子どもの気持ちは子どもが一番分かる

年少児が「三輪車、三輪車」と訴えてきた。K、S、Rが「きっと三輪車に乗りたいたんだ。貸してもらえないの？」と困っていることを予想してくれた。「どうしようか」と投げかけると、「じゃあ、僕が貸してっていつてあげるよ」と助けてあげていた。

## 実習生の日記から 子どもの想像力は無限に広がる

朝の外遊びの時間、5人の子と虫探しをしました。何を見つけるのかなと思っていた所、○ちゃんが「先生、チョウチョを捕まえた」と言いました。他の子が「どれどれ？」「見せて！」と言いますが、牛乳パックを開けようとしません。逃げてしまうと思っていてのではないかなと感じた私は、「羽がパタパタしているから、開けたら逃げちゃうね。でも牛乳パックだと狭いかな」と言いました。すると○ちゃんは「じゃあ今、お空に逃がすから皆見ててね」と言い牛乳パックを開きました。蝶は空高く飛んでいき、皆は口を開けながら拍手をしていました。「**チョウチョはこれから地球の裏側までいくかもよ**」と言っている子もいて、**すごい世界観**だと感じることができました。

## 保育園の駐車場でバック 3歳園児 車にひかれ死亡 2021/06/10

午前10時前、新潟県三条市にある、石上どれみ保育園の駐車場で、この保育園に通うみのりちゃん(3)が軽乗用車にひかれ死亡。この事故で、警察は軽乗用車を運転していた介護福祉士の容疑者(38)を過失運転致傷で現行犯逮捕。容疑者は自分の子どもの送迎中で、駐車場で車をバックさせたところ、みのりちゃんと接触した。

同じ保育園に通う子が被害者(死亡)となり、父が加害者となるという本当に痛ましい事故が発生しました。本園では、これまで駐車場で大きな事故はないものの、子どもの飛び出しによる事故が危ういところで回避されています。子どもは大人の想像を超えた動きをするものです。死角に入りやすいということも含めて、駐車場で手をつないでの誘導、一人で園に戻させない(トイレ、忘れ物…)などの徹底をお願いします。

**お知らせ**：新型コロナウイルス感染防止へのご協力に感謝いたします。

毎朝提出していただいている『健康観察カード』ですが、今回配布する観察カードは 7月、8月、9月と3ヶ月間使用します。〈両面刷り〉